

鳥取県環境学術研究

防災景観と芸術文化のまちづくり講演会

～住みたくなるまち、ガーデンシティ鳥取～

JR鳥取駅前に立ち、久松山を眺めても、そぞろ歩きを楽しむ気持ちが起こらない。緑が少なく看板などが乱立し、防火建築帯は建て替え期を迎えている。残念なのは、鳥取市は城下町ながら地震大火で風情、芸術文化が葬り去られたことだ。今こそ、鳥取市の100年先のまちづくりを見据え、防災に景観・芸術・文化などを加味したまちづくりが必要である。住みたくなるまち鳥取を目指して、「ガーデンシティ鳥取」を提案する。

講演会

来賓挨拶

講演1 日置佳之(鳥取大学農学部教授)

「緑道—低環境負荷型多機能交通網—」

講演2 糸谷正俊(公園管理運営士会会長)

「緑と防災のまちづくり」

講演3 山根弘司((株)サンドヒルズ商事 砂丘フレンド代表取締役)

「鳥取砂丘 砂像文化の継承と地域文化の発展構想」

講演4 前田昭博(重要無形文化財「白磁」保持者・陶芸家)

「ものづくりと環境」

講演5 北村恭一(一般社団法人 西郷工芸の郷あまんじゃく 代表理事)

「工芸作家の集住による「むらづくり」」

講演6 中瀬勲(兵庫県立人と自然の博物館 館長、淡路景観園芸学校 学長)

「緑を媒介にした都市再生」

総括 片寄俊秀(緑の強靱化委員会委員長・元関西学院大学総合政策学部教授)

後援: 一般社団法人 西郷工芸の郷あまんじゃく、鳥取大砂丘観光協会、
一般社団法人日本技術士会 鳥取県支部、一般社団法人鳥取県造園建設業会、
日本海新聞、株式会社今井出版、鳥取造園家集団山水会、
特定非営利活動法人国際造園研究センター、
特定非営利活動法人関西修景作家連合(KALALA)、
一般社団法人日本公園緑地協会、環境緑化新聞、株式会社学芸出版社、
阪神造園建設業協同組合、公益財団法人日本造園学会関西支部、
一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部、
一般社団法人公園運営管理士会関西支部、
一般財団法人日本造園修景協会阪奈和支部、
主催: 公立鳥取環境大学流域ランドスケープ中橋研究室
nak-fumi@kankyo-uac.jp

日時: 平成29年11月25日(土) 14時～17時半 懇親会: 18時～20時(5000円)

出席者は中橋までご連絡ください(080-4269-2813)

場所: 鳥取ワシントンホテル (680-0835 鳥取市東品治町102)

tel 0857-27-8111